

100 世界遺産の旅 (125)

四国古城巡り

秋の好楽シーズン到来と云う事で、四国をドライブすることにした。今回の目的は、国内現存天守 12 城のうち、未訪の丸亀城、高知城、宇和島城と、既訪の伊与松山城に登城する事であった。

天守閣には2種類の形があるようだ。

- ① 望楼型：下層は入母屋造りで、その上に物見の建物（望楼）をのせた形
- ② 層塔型：下層から同じ形状の建物を、規則的に上段へ積み上げていく形

また天守閣に付属する建物の構造から、独立式、複合式、連立式、連結式に分類されるらしい。



丸亀城 (独立式層塔型)、香川県、2021年11月

丸亀城は、小高い山の頂上にあり、瀬戸内海が一望できる。現存天守閣の内、最も小さい天守で、瀬戸内海を行き交う船を見張る砦だったのであろう。



高知城 (独立式望楼型)、高知県、2021年11月

高知城は、唯一、天守と本丸御殿の両方が現存している城で、天守は古風な形式をとっている。

関ヶ原の後、山内一豊が築いた城で、後の在郷武士の坂本龍馬は登城資格がなかったようだ。戦前、この城は、国宝だったが、江戸中期の再建と云う理由で、戦後、重要文化財に格下げされた。



宇和島城 (独立式層塔型)、愛媛県、2021年11月

宇和島城主の伊達秀宗の人生は、悲運だった。仙台の伊達正宗の長子として生れながら、人質としてではあるが、豊臣秀吉と秀頼に仕えたが故に、徳川家康に疎まれ、宇和島へ移封させられた。

昔の宇和島は、宇和海に面し、三方は険しい山々に囲まれる郷であった。それ故、農地面積も限られ、宇和島での藩経営は厳しかったと推察される。



伊予松山城 (連立式層塔型)、愛媛県、2021年11月

伊与松山城は連立式の名城で、土曜だったこともあり、多くの観光客で賑わっていた。城内には、刀や鎧などの武具が展示され、また、築城の歴史に関わる資料なども興味深かった。

今回、高知県の宿泊キャンペーン「龍馬の休日」を利用して、神戸から高速有料道路代の一部 5,000 円が、キャッシュバックされた。

1959年、三橋美智也の歌に「古城」がある。発売当時、歌詞の意味は、良く分からなかったが、現存天守 12 城を巡り終えて、国宝 5 城を除く、7 城天守の物哀しさが、この歌に相応しいと感じた。

松風さわぐ 丘の上
古城よ ひとり何しのぶ
栄華の夢を 胸に追い
ああ 仰げばわびし 天守閣